

# すべては 子どもたちのために

## 手城小教職員の心得

私たちは 未来をになう子どもたちを育てます。

私たちは 法令を遵守します。

私たちは 不祥事を起こしません。

## 不祥事根絶のための行動計画

福山市立 手 城 小 学 校  
校長 宮本 加代子

| 区 分                | 行動目標   | 取組内容  | 点 検   |
|--------------------|--|---|---|
| 教職員の規範意識の確立        | <ul style="list-style-type: none"> <li>○服務研修の方法や内容等を見直し、自らの行動が公教育への信用に大きな影響を与えることの自覚を再認識し研修効果が実感できるようにする。</li> </ul>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○全ての教職員を対象に服務研修に係るアンケート調査を行い、方法や内容等を改善する。</li> <li>○個人情報の管理を適正にするために、職員室や教室のロッカー・机上の整理整頓をする。</li> </ul>                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○服務研修についてのアンケート調査を行う。</li> <li>○毎週金曜日の退校時に学年でチェックし、教頭・主幹教諭へ報告する。</li> </ul>        |
| 学校組織としての不祥事防止体制の確立 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○小さな異変に気付き、すぐその場で言える教職員集団づくりをし、組織で仕事を進めることができるようにする。</li> <li>○不祥事防止委員会の協議内容を全教職員へ伝える。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○各部の主任・主事や学年主任が中心となって互いの仕事の進捗状況を確認し、特定の者に負担がかからないよう集団でサポートする体制をつくる。</li> <li>○仕事の状況等の様々な情報について「報・連・相・確認」を確実に行う。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○月に1回、企画委員会や学年主任会で情報交換を行い、状況を把握する。</li> <li>○特に最後の確認をその都度行い全ての教職員で共有する。</li> </ul> |
| 相談体制の充実            | <ul style="list-style-type: none"> <li>○「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の児童への周知を繰り返し行い、相談しやすい体制をつくる。</li> <li>○緊急通報システム等の活用で迅速な連携をする。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校だより等で保護者に周知するとともに、全ての教室にポスターを掲示し児童への周知をする。（担当の教職員の明示）</li> <li>○学年主任が中心となってコミュニケーションを図る。</li> </ul>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○学期に1回の児童・保護者及び本校教職員を対象にアンケートを実施する。</li> <li>○学年会の中で互いに点検・相談する意識をもつ。</li> </ul>    |